

最後まで「口から食べる」を支えます



摂食嚥下障害看護認定看護師は、摂食嚥下障害を持つ患者様に安全に口から食べるための評価とケアを行う看護師です

「口から食べる」ことは、栄養だけでなく、生きる喜びや生活の質に大きくかかわります。摂食嚥下障害はあらゆる人に起こりうる障害です。飲み込むことが難しくなった方に対し、その方に最適な食形態や介助方法、口腔ケア、リハビリテーションを提案することができます。

入院中、退院後も多職種と共同しながら、誤嚥性肺炎を予防しながら人生の最後までおいしく「口から食べる」ことを全力でサポートします。

摂食嚥下障害看護認定看護師